

「益田の医療を守る市民の会」が第71回保健文化賞を受賞しました！



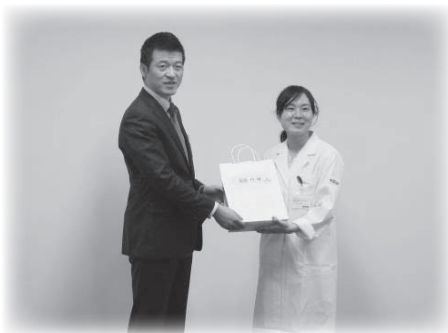
「益田の医療を守る市民の会」が第71回保健文化賞を受賞し、昨年12月17日(火)に明治記念館において表彰状が贈呈され、18日(水)には天皇皇后両陛下の拜謁を賜りました。限られた益田市の医療資源をどう守り支えるかを市民の立場で考え、医療機関・行政と連携して地域医療の推進・発展に関する事業を行い、市民が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献していることが高く評価されました。

12月25日(水)に、尾庭昌喜会長と高橋宏聡事務局長が市長を訪問し、「益田の医療を守る市民の会」創立10年目での受賞について、「これまでの会員の活動の積み重ねが評価されました。これからも益田市の医療を守り、支えるために頑張りたい。」と述べました。



病院勤務医師支援事業&赴任医師歓迎事業を開催しました！

昨年12月17日(火)に、市内の病院での勤務が10年を経過した医師に対して感謝を伝える『病院勤務医師支援事業』および新たに市内の病院に赴任された医師の方々に歓迎の意を伝える『赴任医師歓迎事業』を開催しました。当日は、市長とともに益田赤十字病院を訪問しました。



『病院勤務医師支援事業』では、総合診療科の岡本栄祐医師に市長から感謝状と特産品の目録が贈呈されました。研修医の指導者でもある岡本医師からは、「若い力を育ててきて、撒いた種が芽を出してきたところです。これからも研修医の育成にも力を注ぎたい。」との力強い言葉がありました。



『赴任医師歓迎事業』では、10月から益田赤十字病院に赴任された麻酔科の延原円医師および小児科の田部有香医師（診療のため欠席）に、市内観光施設利用券および温泉入浴優待券が贈呈されました。延原医師は、「周りの方々から支えられて働きやすい環境であり、これからも元気を届けていきたい。」と述べました。

益田の医療を支える医師に感謝を伝え、これからも益田でご活躍いただくことを願うとともに、赴任された医師の方々には、益田の魅力を感じながら一日でも長く益田で勤務していただきたいと思いをします。

